

1 淫魔教育2 汀編

2 執筆…小籠包好男

3 監修(汀)…白井沫

4
5 ▽汀(なぎさ)

6 大学二年生。ヒロインと一緒に平凡な姉弟として育ってきた筈が、ヒロイン
7 に誘惑されて肉体関係を持つてしまったり、実は自分達は血が繋がっていない
8 い上ヒロインは人間ではないという話を告白されたり、ヒロインの実の兄を
9 自称する男・有馬優正と強制的に同居生活をスタートされたりと振り回され
10 放題。

11 だが、意外に順応性が高く、今の暮らしに馴染んできてしまっている。理系
12 大学生のため、勉強が割と忙しく、アルバイトをせず姉と優正に養ってもら
13 っていることを負い目を感じている。

14
15 ▽有馬 優正(ありま ゆうせい)

16 ヒロインの実の兄で淫魔。ゴリ押しでヒロインと汀との三人暮らしをスター
17 トさせた。仕事に家庭にと、大黒柱気分で充実した日々。

18
19
20 ▽ヒロイン

21 成人女性。元々は人間として育てられていたが、優正たちとの出会いによっ
22 て自分が淫魔の女であることを知った。現在は優正&汀と同居し、雷斗とマ
23 イペースに稼ぎ、秀二や十色とも定期的に会う生活を送っている。淫魔とし
24 て生きていくことにだいぶ慣れ、平和な日々。

25 他の男性と肉体関係を持つ事もあるが、優正ら5人以外に、深い付き合いの
26 相手をこれ以上増やそうとは思っていない。淫魔としては極めて控えめな性
27 格。
28
29
30
31

▼トラック1

【場面】とある昼下がり／優正が汀の部屋で勉強を見ている

優正「だから、結局汀が進む業界のことを考えるなら

英語はこのくらいのレベルであれば最低限は大丈夫かな…。

それこそ海外の大学に編入するとか、

もっとアカデミックな方に寄るなら

レベルの高い英語塾に通った方がいいけど、」

汀「うう……。じゃあ結局今は

単語の詰め込みと文法っすよね…」

優正「スピーキングもやっていいと思うけどね。

明日から俺との会話ぜんぶ英語にする?」

汀「む、むりです! 出来る気しない…」

【ヒロイン】おやつを持って部屋を訪ねる。扉をノックし

汀「ん? なにー…?」

…おやつ? おお、ありがと…、

(小声／ぱあっと)……プリンだ!」

優正「今? 汀に勉強教えてた♡英語の試験が近いんだって。

ふふ、兄弟って感じで楽しー、こういうの(笑)」

【ヒロイン】「偉いよね、汀…」素直に感心

汀「ええ…?」

別に…、偉いわけじゃなくね…?

行きたいところあって、やんなきゃいけないなら、やんなきゃだろ」

優正「偉いよ? 大学の勉強、作物・食品研究って、

生活に直結する分野でしょ。大事なお仕事だよ?」

1 汀 「そっ……うお……なんか優正さんに言われると
2 自己肯定感があがる…」

3
4 【ヒロイン】「わ、私だって褒めてるのに…」

5
6 汀 「えー…

7 いやまあ…姉ちゃんも褒めてくれるけどさ
8 いつも褒めてくれるんだから、なんか弱い。喜びが」

9
10 優正 「だから汀は一生懸命勉強しようね♡

11 勉強は学生の本分だからね。

12 まずは参考書の選び方も重要なんだけどー……」

13
14 汀 「え、あ、待って下さい、本棚はあんまつ……！」

15
16 優正 「（眺める）ふむ……。ああ……。
17 ……ん？」

18
19 【場面】優正が取り出した参考書につられて、薄い本が床に落ちる

20
21 汀 「ちよっ！ それはっ……！」

22
23 優正 「あれ。あつは、エッチなマンガだこれ（笑）」

24
25 汀 「ああああちよっとお……！ 待って待って待って！」

26
27 【ヒロイン】汀の所有エロ漫画に興味津々すぎ、駆け寄る

28
29 汀 「ね、ねえちゃん！ 馬鹿！ なんでそんな嬉しそうに……！」

30
31 優正 「へー……。初めて見た、こういうの」

32
33 汀 「初めてっ……！？」

34
35 優正 「だって絵だよ？ 現実のセックスがあるなら要らなくない？」

1 【ヒロイン】「お兄ちゃん、それは違くて」

2
3 汀「優正さん、それは違うす」

4
5 優正「違うの？ そんな二人揃って言わないでも（笑）」

6
7 優正「へー…」

8
9 汀「ちよつ、だから中見ないでつてば…！」

10
11 優正「ああ……無理矢理系だ。かわいそう。」

12 女の子が学園祭でメイド服着せられて輪姦されてる…」

13
14 汀「ああ……あゝゝゝ………」

15
16 優正「見てこれ。使用済みのゴム体に縛られて落書きされて…」

17
18 【場面】心底同情したトーンでヒロインにエロ漫画を見せる優正。

19
20 汀「それ…それはあ！ 将棋部のオタクの友達に

21 借り…貸されたやつ！ 俺のじゃない！

22 （弱気）内容がどうかじゃなくて

23 絵が…絵が上手いから見てただけっていうか……」

24
25 優正「（悲しげフツと溜息）」

26 汀みたいな真面目な大学生もこういうの読むんだ……。

27 よくないね。女の子に対する倫理観が

28 よくない方向にいつちやうよ、こういうのは」

29
30 汀「お、おお、どの口が……」

31
32 【ヒロイン】「読みたい、それ」

33
34 汀「なに姉ちゃ……は！？」

35 読みたい！？

36 ばかばかばか。読むなって。触るのもなんか嫌だわ……！」

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
【ヒロイン】「なんで……」

汀「なんでって…お、俺のじゃないから！

男友達のエロ漫画を姉ちゃんが読むってなんかヤじゃん…！
変だよ、ヘーん！」

【場面】わちゃわちゃ会話している姉弟の様子を眺めて思案する優正

優正「……」

▼トラック2

【場面】数日後、休日の朝／リビングにやってくる汀。
ヒロインだけがソファアークつろいでいる

汀「（小さめあくび）ふぁ……うわ、もう起きてる。おはよお…」

【場面】ヒロインにもたれ掛かるように密着する汀。
自然体だが、傍から見れば甘えているようにしか見えない距離感。

汀「…苺食べてる。いいな—

おれもたべる…」

汀「い、いいってあーんとか……普通に食べるから…」

汀「今日の予定は？ 姉ちゃんどつか出かける用事あんの？
…や、別に俺もなんもないけど、
土曜だしほら…なんかするかなって」

【場面】ドアがガチャリと空いて優正が現れる

優正「あ、おはよう♡

汀、ねーこれプレゼント♡あげる♡」

汀「えっ、プレゼント…？ なに……？」

【場面】「届いたんだ…！」と反応するヒロイン。
汀は怪訝な表情で大きな包みをガサガサ開けつつ

汀「（眩き）なに…？ 服？ レースだ…？
はえ、ええー…？？」

【場面】服の様相が見えてきて「？？？」となる汀

汀「…えー？ おわっ！？ ギャツ、（強打）イツっ…！」

1 【場面】メイド服と気づき、驚愕して膝をテーブルに強打する汀

2
3 優正「メイド服♡

4 ひらひらミニスカートの可愛いやつ！」

5
6 汀「メイ…、なんすか急に……。

7 …ああ。そういえばうちって

8 コスプレセックスって全然しないすね」

9
10 【ヒロイン】「汀、冷静……」

11
12 優正「んん……？ 汀、ぜんぜん冷静だね」

13
14 汀「え？」

15
16 優正「ん？」

17
18 汀「…………？」

19
20 優正「（納得）ああ！ それ、お姉ちゃんのじゃなくて

21 お前が着る用のプレゼントだよ♡」

22
23 汀「お、えー？」

24
25 【場面】ヒロインを挟んでソファーに腰かける優正

26
27 優正「あはは。そっかあ。エッチなコスプレ衣装見ただけで

28 これは『お姉ちゃんのだ』って勘違いしちゃったんだ？」

29
30 優正「よくないね。そういう先入観がある時点で

31 やっぱ日本の男の子の性知識って偏ってるんだと思うよ」

32
33 汀「いやいやいや、まって！ 待って！

34 分かんないって！ それは流石に分かんないですって！」

1 優正「汀、この前エッチなマンガ持ってただろ…？

2 ああいう女の子が可哀想なのばかり見るのはよくない。

3 可哀想なので興奮するなら、自分も可哀想な目に遭わないと」

4
5 汀「どういう理屈！？ だからなんで俺が女装！？

6 ね、ねえちゃん！ 助けて…！」

7
8 【場面】ヒロインの腕にすがりつく汀。ヒロインは

9 「汀…ごめんね…；；」とは呻きつつ萌えが隠しきれていない。

10
11 汀「ご、ごめんねって顔してないだろ…！」

12 やだってば、こんないかにもな…！」

13 骨格だって俺普通に男だし、す、すす、すね毛だって生えてるし！」

14
15 【ヒロイン】「え…っ、生えてるのわかんないよ」

16
17 汀「わかんないとかじゃない！ うるさい！」

18
19 優正「ええ…？」

20 （ヒロインに妖しく囁き）見たいよな？ 弟のえっちな女装姿…♡

21 どう考えても似合うもんね、汀のミニスカメイドコスプレ…♡」

22
23 【ヒロイン】「み…見たい…♡」呻く

24
25 優正「ほおろ…。『見たい…♡』だって。

26 汀見て？ お姉ちゃんせつなそうだよ？」

27
28 汀「みつ…ヒイ…！」

29
30 【ヒロイン】汀を見つめる。『汀、メイド服着て…♡』

31
32 汀「やつ…やだあ…その目…」

33 やだってば…頭ぐるぐるンなる…っ…♡」

34
35 汀「（目を瞑り）着ないっ…、絶対着ない！」

優正「（ぴしゃり）汀。ちゃんとお姉ちゃんの目見て」

汀「っ……………」

ウ……………」

【場面】優正の声に誘導されて、ヒロインの力に従わされる汀

汀「ぎ…………着ま、す…………♡」

【場面】しばらくして、渋々メイド服を着用した汀。

両手に掃除道具を持たされ、すっかり冷静に戻っている。

汀「で…………何この掃除道具…」

【ヒロイン】「セックスすると思った？」

汀「ばっ……！ そりや思うだろ！

あの流れはセッ…クスだったって…！」

優正「汀、前に言ってただろ？」

バイトせずに俺とお姉ちゃんに養われてるの、罪悪感があるって。

汀はいつも沢山家事してくれてるんだから、

これが汀にとってのバイトだよ♡」

汀「バイト…………これが…………」

優正「まずは網戸のお掃除からお願いしていいですか？ メイドさん♡」

汀「…する…する、けど…………」

【場面】掃除道具を持って窓際へ向かう汀。

カーテンに手をかけてハッと息をのむ

汀「っ、これっ、外から丸見えじゃ…………！」

1 優正「大丈夫でしょ。もし見られても
2 『なんかメイド服着てるな』くらいにしか思われないよ
3 ……ん？」

4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

【ヒロイン】「汀、遠目から見たら女の子に見えるかも…」

汀「はー？ 遠目から見たら、何だって！？」

女子みたいって、もう一回言ったら、お、おこ、
(慣れない怒りをなんとか出してみるが、拗ねているようにしか聞こえない)
怒るからね…姉ちゃん…絶対だから。マジで
タチ悪いの、良くない
はあ…(溜息)」

【場面】といいつつ、お利口に掃除を始める汀

汀「(無言で網戸を拭く)っ……、……。

(呟く) え、キモ…一回拭いただけでタオル真っ黒になったんだけど
やば…もーちよい頻度良く掃除するかなあ…」

優正「ふふ、がんばれがんばれ…♡」

汀「(背伸び)ん…、上、届かない…っ」

【ヒロイン】真面目に掃除をする汀の姿をしばらく眺める。
汀に聞かれないように耳打ちで優正に話しかける

優正「(こそこそ)……ん？ なに？

…写真撮りたい？ あは、後でね(笑)」

優正「あは、ふふ、もっと近くで見よっか？」

汀「ん……？」

【場面】二人がしゃがみこんでこちらを見上げている事に
仰天して大声を出す汀

1 汀 「ひっ!？ 何でスカートん中覗き込んでんの!？」
2 間違えて蹴ったりしたらどうすんだよ!
3 …いや違う! 変態! やめろってば!」

4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

【ヒロイン】「中は見えてないよ。それにしても絶景…」

汀 「絶景とかじゃなくて! うあっ……!」

【場面】ヒロインと優正、二人で汀の足を撫でまわす

優正 「汀ふとももすべすべ♡」

汀 「ちよつと、まつ……せくはら、それセクハラ…!」

優正 「あーダメダメ。手汚れてるのに
お姉ちゃん触れないでしょ?

そのまま掃除続けて(笑)」

汀 「んあっ…♡はっ……うう……、ああ、もう……!
はっ…♡はあ♡ちよつ、とお……!」

【場面】汀を無視してヒロインにこそつと話しかける優正

優正 「…んん? ふふ、汀って綺麗な足してるよな!。白くてすべすべ…」

優正 「ね。スカートの下、どっちの下着履いてると思う?

一応女子用の下着もセットには入ってたんだけど…」

汀 「はっ……、はあ、やめっ……♡」

【ヒロイン】「普通のパンツ履いてると思う…」

優正 「…普通のパンツ履いてると思う?(笑)

ふふ。じゃあ手入れて確認してみよっか」

汀 「ああ? ねえ、はなし聞いっ…(て)…」

1 【場面】ヒロインと優正、スカートに深く手を入れて下着チェック
2
3 汀「あっ…!♡」
4

5 優正「普通のパンツだ。さすが、ちゃんと当たるね♡」
6

7 汀「当たり前っ…! 履くわけないだろ、あんな変態っぱんっつ…!♡」
8

9 汀「はっ…♡はぁ♡（フラつく）っうあ♡
10 はぁ、ねえ、その触り方っ…!♡」
11

12 【ヒロイン】「振り向いちやダメだよ」
13

14 汀「ふ、振り向いちやダメ…? なんで…っ?」
15

16 【ヒロイン】「お掃除中ですよ」
17

18 汀「そうじちゅ…掃除中、だけどっ…」
19

20 優正「んーふふ…♡」
21

22 なーぎーさ、お尻撫でてる手、どっちがどっちのかわかる…?」
23

24 汀「えっ…!?!? っ……（勘で様子見）
25 わ、わかんない…、えっ? わかんないっ…!?!」

26 優正「あは。フェザータッチだと、男女の手の見分けつかないよな…♡」
27

28 汀「はう…♡あっ♡まつ、って、それ、
29 くすぐったいのされると、ほんとうにっ…♡」
30

31 優正「下着おろしちやおつか。えい♡」
32

33 汀「はぁ…? あっ、だ、あぁっ…!」
34

35 【場面】ずる、と下着を膝まで下ろされる。
36 勃起した陰茎がスカートを押し上げ

1 汀 「（口抑え）うつ…♡ふっ、う……」

2
3 優正 「あーすごい勃ってる（笑）

4 ちんぽでスカートつん、って押し上げてるの、
5 すごいエッチかも、これ〜…」

6
7 優正 「…♡二人で一緒に、汀のおちんちんよしよしよ…♡」

8
9 【場面】 ヒロインと優正、二人でゆるゆる汀の性器を弄ぶ。
10 汀も快感に負けて抵抗できなくなっている。

11
12 汀 「はっ、んあっ…？！…♡う、っぐ……♡

13 はあっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡
14 あっ♡だめ、手コ、キっ…♡手、ふたりでっ……♡」

15
16 汀 「んっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡…」

17
18 【ヒロイン】 「汀、手とまってるよ」

19
20 汀 「んんっ…？♡そう、じ…掃除も、するからっ…！♡

21 あんま強く、しないでっ…♡」

22
23 優正 「あは。強くなかったらいいんだ？♡」

24
25 【場面】 即レス揚げ足取り。汀の亀頭をくりくりと撫でる

26
27 汀 「ふあっ！♡あ♡あっ♡あっ、あっ、あっ……♡

28 はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡

29 それっ…♡先っぽくりくり、やだっ……♡」

30
31 【場面】 ヒロインは根本からぐしぐしと揺さぶるようにしつこく。
32 汀の大きな喘ぎ声が漏れ、窓枠に手をつく

33
34 汀 「うあっ！？♡ あーゴシゴシもだめっ♡

35 イきっ……♡あっ♡あっ♡はあっ、はあっ…♡

36 はえ？ はあっ♡はあっ♡手えこれ何個触られ、てっ……？…♡

1 わ、かなつ…もうわかない、これっ…！
2 あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

3
4 優正「ふふ。あんま大きい声出したらお隣さんに聞こえちゃうぞ〜？」

5
6 汀「っ…！（口塞ぐ）ふっ…！

7 うっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡…」

8
9 優正「がんばれがんばれ♡ほら、ちゃんと足ピンって背伸びして
10 上の方まで拭かないと♡」

11
12 汀「だっ♡あっ♡これじゃ、掃除どころじゃっ…♡

13 むり、むり、むり、むりっ♡せーし、でるっ……！♡」

14
15 【ヒロイン】「汀、今どっちがゴシゴシ手コキしてるかわかる？」

16 汀の陰囊の方をゆるゆる撫でながら

17
18 汀「はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

19 はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…」

20
21 汀「はあっ？ ああ？ ええっ…？♡

22 い、今、ゴシゴシ手コキしてる、手っ…？♡

23 どっちのかっ……？♡」

24
25 汀「あっ…♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…

26 （熟考）はーっ♡はーっ♡はーっ♡はーっ♡はーっ♡…」

27
28 汀「ね、ねえちゃんの、じゃないっ……！♡

29 これ、シてるの、優正さんの方っ……！♡」

30
31 優正「あー。当たり前だあ（笑）

32 やっぱ男の手だった？ 握る力強かったかな？♡」

33
34 汀「あっ！♡あっ♡あっ♡あっ♡

35 ちよ、だめって、イキそうだからほんとやめっ……！♡」

1 【ヒロイン】引き続き汀の性器を弄びながら、優正の方を見て
2 「お兄ちゃんってこういうのもできるんだ…」
3

4 優正「(適当に笑いつつ)」

5 ね。俺ノンケなんだけどねー。汀相手だったら
6 このくらいは全然できる(笑)」
7

8 汀「つや、だめ、だって…っ♡」

9 ゆ、せ、さんっ…♡やめてってば…っ!♡」
10

11 優正「えーだめ…?♡俺の手コキきもちよくない…?♡」
12

13 汀「っ…!♡う、ふっ…」

14 はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡
15 (否定できない)はあっ、はあっ、そ、それは…っ♡」
16

17 優正「(ふわっと甘ったるく)ふふ。

18 汀のおちんちんゴシゴシするのお兄ちゃんたゝのゝしゝいゝ…♡
19 いいよ♡もういっぱいびゅーびゅーしちやお♡」
20

21 【場面】ヒロインと優正に同時に性器をいじられ、
22 大きく喘ぎを漏らす汀
23

24 汀「んあっ!?!♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡
25 っああやばそれっイク♡イクっ♡イクっ…!♡♡
26 まって、イクっ…♡

27 ふあっ…♡あっあっあっあっ♡
28 (絶頂)んんっ♡んああっ…!…!♡」
29

30 汀「あっ…!♡ ああっ、うあっ…♡

31 はあっ…:はあっ…:はあっ…:はあっ…
32 はあっ…:はあっ…:はあっ…:はあっ…♡」
33

34 【場面】びゅるびゅると射精した汀。
35 快感で腰が抜けてその場に四つん這いでへたり込む
36

1 優正「ふふ…♡なーぎーさ、こっち向いて♡」

2
3 汀「ふえ……えっ？」

4 あむっ、んぶ、んむっ！？」

5
6 【場面】精液まみれの指を汀の口に突っ込む優正

7
8 優正「メイドさん♡自分で出した精子、
9 ちゃんと自分で舐めて綺麗にして？♡」

10
11 汀「（拒みぎみ）や、やら、あ、あんむっ、は、う、ううっ……！」

12
13 汀「はむっ……！ う、ううっ……
14 んむ、ぐちゅ、んんっ…、れろっ…、んんっ……」

15
16 汀「ぶはっ……はあ、はあ、はあ、はあっ……
17 んっ…♡ふ、はあ、はあっ……」

18
19 【ヒロイン】優正の強引さには「おお…」と
20 気圧されつつも「汀…かわいい…♡」メロメロになってしまう

21
22 優正「ふふ。お姉ちゃん、お気に召しました？
23 次は何して遊ぼっか♡」

24
25 汀「ひっ……！ 待って、まっ………！」

26
27 【場面】淫魔二人の圧に怯えて立ち上がる汀

28
29 汀「もういいって！ 色々限界すぎる、これっ……！」

30
31 優正「あっ！」

32
33 【ヒロイン】「な、汀…！」

34
35 【場面】バタバタと洗面台に駆けていく汀。じゃぶじゃぶ手を洗う

1 汀 「だっ、大体掃除、い、一応毎日やってるし!!」
2 今わざわざこんな格好でやる必要くない!?
3 セクハラされながら家事するとか絶対やだ! もうやらないっ…!」

4
5
6 【場面】 タオルで手を拭きそのまま自分の部屋に直行。

7 汀がぷりぷり怒る姿をヒロインと優正二人で眺めながらついていく

8 優正 「(こそっと) あっはは、ふふ、怒り方が面白いすぎ(笑)

9 部屋籠っちゃった。どうしょっか?」

10
11 【ヒロイン】 ドアをノック、声をかける「汀、ごめんね〜…」
12

13 汀 「ああ…? ごめんって思ってるなら、

14 それっぽい声で言ってくんない!?

15 せめてき!~?」

16
17 【ヒロイン】 「ごめん〜…ドア開けて〜…」
18

19 汀 「いやだ、絶対開けない…!」
20

21 優正 「(こそっと) ……頑張って♡

22 淫魔の力の見せどころだよ…?♡」
23

24 【ヒロイン】 うーん…と悩んだのち『汀、遊ぼう』洗脳の力を意識
25

26 汀 「っ…………… うっ……………」
27

28 汀 「遊ぼってなに…そんなの…小学生じゃないんだからな、

29 俺…姉ちゃんは、いつまでも…おれを、こどもあつかい、して…」
30

31 【ヒロイン】 『気持ちいいことしよ〜…?』
32

33 汀 「き……………もち…いいこと……………」
34

35 【ヒロイン】 『汀、お姉ちゃんとセックスしよ…♡』
36

汀

「せ、せつくす、はっ…

うっ……、やだっで、やつ……。

…、っ……あ…？」

【場面】汀の意思と体のうごきがちぐはぐになり、扉を開いてしまう。

1
2
3
4
5
6
7

▼トラック3

【場面】扉を開くやいなや、ヒロインに口を塞がれる汀

汀 「っあれ…？ 俺なん、でドア開けて、
（キスされ）んむっ！？ んんっ…！♡
んっ、ふっ…♡ んんっ…？ ちゅぱ、じゅる、んんっ…！♡」

汀 「ま、待って！ し、しないっ…！♡ セックス、しないってば…！♡
んちゅ、ん、ふっ…♡♡」

【場面】といいつつ、ぎゅうぎゅうと姉の体を抱きしめてしまう汀。

優正 「あは。その割にお姉ちゃんの体ぎゅうぎゅう抱きしめて、
ちんぽこすり付けちゃってない…？♡
こういうのドライハンプ、って言うんだよね。
服ごしに性器こすり付けて気持ちよくなるの♡」

汀 「はえ…？ あっ、なん、でっ…？ なんでっ？♡
（キスされ）んあ、ふっ♡ んむ、じゅる、
んんっ、ふーっ…！♡」

汀 「はあっ、はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡…
ねえちやっ…、俺になんか、変なことしてるだろっ…！」

優正 「んーふふ…♡ 頭と体がちぐはぐになっちゃった？
こういう形の洗脳術もありだねえ？♡」

汀 「せ、んの……？ 洗脳って、なにっ…？
はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡
し、しないって思ってるのにっ…♡
セックスしないって思ってるのに、
腰へこへこ、とまんなっ…あっ…！♡」

【ヒロイン】自分でも力がどう作用してるのかわかってない。

汀が発情して射精しようと自分に体を擦りつけてくる姿に興奮する

1 汀 「姉ちゃんっ…!♡ そのエロい表情すんのやめっ♡
2 あっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…」

3
4 優正 「あっはは。発情期のにゃんこみたい♡ 可愛い♡」

5
6 汀 「はあっはあっ♡はあっ♡はあっ♡
7 だめ、腰とまんな、腰とまんないっ…!♡

8 あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡
9 あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡…」

10
11 優正 「…ストップ。だーめ、汀。ちょっとストップ」

12
13 汀 「えっ…!?! あっ!?! えっ…!?!」

14
15
16 【場面】 ぐい、と優正に腰を掴まれヒロインから離される

17 優正 「今日のテーマは女装セックスだろ?」

18 まだちゃんと出来てないのに気持ちよくなっちゃだーめ」

19
20 汀 「えっ…!?! ど、どういうっ…」

21
22 優正 「そこにあるじゃんね。さっきお前が履かなかった、

23 女の子用のぱんっ♡」

24
25 汀 「っ…!?! や、それ、はっ…それはむり、流石にむりっ…!♡」

26
27 【ヒロイン】 「可愛いと思うんだけどな…♡」

28
29 汀 「!?! かわいい、とかじゃなくてっ、

30 ただの変態じゃん、それはっ…!」

31
32 【ヒロイン】 「…汀もオタクなら、わかると思うんだけど…」

33
34 汀 「わかつ…、わか、わからなくもない、けど…」

35
36 【ヒロイン】 「じゃあ今日はセックスしない…?」

1 汀 「っ…！ セックス、は……………したい…♡」

2
3 【ヒロイン】「女の子ぱんつ履いてくれるなら…♡」

4
5 汀 「っ……、…わ、かつ…履く、履く、から……

6 じゃ、あ、着替えるところ見ないで。ちょっと目つむって…！
7 おねが…う」

8
9 優正 「（笑）は…い♡」

10
11 【場面】折れた汀。お願い通りに少し目元を隠すヒロインと優正

12
13 汀 「っ……」

14
15 汀 「あっ……う……。あ、う…うう、もうむり、無理い…！」

16
17 汀 「っ……。履いた、けど……」

18
19 【ヒロイン】目を開ける。「ほんとに履いた…？」

20
21 汀 「履いたって！ 履い、だからあ、だから…

22 あー？ 捲んなやめっ、やめろ！」

23
24 【ヒロイン】汀のスカートをぺろりと捲る

25
26 優正 「あは（笑）勃起ちんぽ、ぜ…んぜん収まってないね…？…♡」

27
28 汀 「っ…！ し、ぬ、これ…っ♡」

29
30 【場面】あまりの羞恥で泣きそうになる汀。

31 裏腹に性欲はどんどん高ぶってくる。

32
33 優正 「先っぽ出ちゃってるのかわい…（笑）」

34 ほらスカートで隠さないで。鏡の前立ってみな？」

35
36 汀 「うわ！ ちょ、やだ、それはやだって…！…♡っ、あ……………！」

1 【場面】ヒロインと優正に背中を押されて
2 全身鏡の前に立たされる汀。自分の姿を見て愕然
3

4 汀 「っ……!」

5
6 優正 「ほら。かわい〜…♡

7 ブラウス引っ張ったら乳首も見えちゃうね。

8 メイド服着て、女の子の下着履いて

9 ちんぽビンビンになってる姿、ちゃんと見て…♡」

10
11 汀 「っう、あっ……♡

12 まっ、あっ、あっ……♡こ、んな、変態みたいな、姿っ…♡」

13
14 【ヒロイン】「かわいいよ、汀〜…♡」耳舐め

15
16 汀 「ひっ…!♡ あっ♡やめ♡

17 耳舐めないでっ♡うあ♡あっ…♡あっ…♡あっ…♡

18 (口抑え) んふっ、ふーっ、ふーっ、んんっ♡んんっ…!♡」

19
20 優正 「(ヒロインへ耳打ち) 手え貸して♡」

21
22 優正 「ほら、俺とお姉ちゃんの手え合わせて

23 くぱあ〜ってまんこみたいにしたこの穴、

24 ぬるぬるちんぽ、入れてみて良いよ…♡」

25
26 汀 「ふっ、う、ええっ…!…?♡

27 あっ……!…♡ だ、だめっ…♡あ、あ、あっ♡ (疑似挿入)

28
29 汀 「はあっ♡はあっ♡はあっ♡やだ、やだこれっ…♡」

30
31 優正 「ねー、やだね? でも腰へこへこ止まんないね〜?♡」

32
33 汀 「んあ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡…

34 ああっ、なんで、腰勝手に動くっ…♡

35 はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

36 あっ♡ちんぽ♡ちんぽぐちゅぐちゅ、きもちっ…♡

1 んあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡
2 んっ♡んんっ♡ふうっ…♡」

3
4 優正「…ねー、お前と俺、『ケーキ入刀』みたいなポーズじゃない？」

5
6
7 【ヒロイン】「えっ、あっ、そ、そうかも…♡」

8 優正「あっは、ふふ、なんかシユール（笑）

9 でもうれしー、これ…♡

10 キス、しよ…♡はむ、んちゅ、んん、ちゅっ、ちゅうっ…♡」

11
12 【場面】自分をよそに背後でいちやつき始めた優正とヒロインに
13 嫉妬する汀。腰は止まらないが、抗議の声を上げる
14

15 汀「ああっ！？ ちょ、ちよっとお…！
16 勝手に、何してっ…！」

17
18 優正「はむ♡んちゅ、じゅるっ…

19 えー、お姉ちゃんとのキスって汀の許可制だったっけ？（笑）

20 んむ♡ちゅる、んん♡

21 だーめ、汀は腰へこする方に集中してな♡」

22
23 汀「（強い快感）んあ！♡あっ♡うあっ♡

24 （慌てて手で押さえる）ふっ…！♡ やだ、嫌だっ！♡

25 んあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

26 こんな変態プレイみたいなのっ…♡したく、ないのにつ…♡」

27
28 優正「ねー？♡したくないのに

29 ちんぽ気持ちよくて腰止まんないね♡」

30
31 【ヒロイン】「汀のへこへこ可愛いよ…♡」
32

33 汀「んはっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

34 ああやだっ♡とまんないっ♡とまんないっ…！♡

35 ねえもお手じゃ、なくてっ……せつくす、

36 せつくす、したいっ…♡まんこがいいっ…！♡」

1 優正「えー、そつかあ（笑）
2 どーする？ もう手コキはいいって（笑）」
3

4 【ヒロイン】興奮、頷いて優正との手をほどいて汀にキス
5

6 汀「あつ、ねー、ちやつ…♡んむっ…！♡
7 はむ♡んん♡んじゅ、れろ、あむっ…♡」
8

9 汀「っふは、せつくす、せつくすするっ…♡
10 ねーちゃんのまんこがいいっ…♡
11 んん♡んむ♡んちゅ、じゅる♡っふは…♡」
12

13 優正「ふふ。じゃあベッド寝ちやいな♡」
14

15 【場面】押されてベッドに仰向けに倒される汀。
16

17 汀「んわ！ あっ…！」
18

19 【場面】汀の上に跨るヒロイン。ギシ、とベッドが鳴る
20

21 汀「ふっ…♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡…
22 ンッ…♡えっ？ あ？ ねえちゃん、なんで乗っかって、
23 待ってもう入れるのっ？」
24

25 【ヒロイン】「え、だめ…？」
26

27 汀「だって、ぜ、前戯、なんもしてないっ…！」
28

29 優正「ふ（笑）ふふ、汀まじめ♡」
30

31 汀「前戯っ、ちゃんとしないでするのはよくないって、」
32

33 優正「お姉ちゃんは即おまんこ可能な淫魔だよ？♡
34 見てみな♡くぱあゝって、ぐちゃぐちゃまんこが開くと…」♡」
35
36

汀 「うつ…♡あつ…♡
やば…あ、とろおってして…垂れた…♡
こんなの、こんなの、…もお…♡」

【ヒロイン】 「なぎき…♡」 甘くキス

汀 「（キスされ）んむ♡んつ、んん、んん…♡
（甘めた声で）入れ…♡挿れ、ちゃう、…の…♡？…♡…♡？
（挿入）はっ…♡あ、あつ…♡」

【場面】 汀の肩を押さえて腰を落とすヒロイン。挿入。
奥まで入ったところで、激しくぱんぱん腰を動かす

汀 「あつー？ ああつ…！…♡ ふ、う、あつ…！…♡
あつ…！…♡は♡ちんこ、吸われっ…激しっ♡
んあつー！？ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡」

汀 「ああやば、あつ♡あつ♡あつ♡あつ♡
まって、あーきもちっ…♡きもちよ、すぎる、これっ…！…♡
はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…！…」

優正 「ふふ、あのエッチなマンガと一緒にだね♡
メイド服着てずこばこ犯されてる姿かわいいよ♡汀♡」

汀 「うつ♡うつ♡はっ♡な、なんで、こんなこと、にっ…！…♡
あっ♡ああっ♡ああっ♡はあっ…！…♡」

【ヒロイン】 「汀、おちんぽきもちい？♡」

汀 「はあっ♡はあっ♡はあっ♡
んあ？ はっ？ あっ♡き、もち♡
きもちいいって、言ってるじゃんっ…！
っうえ？ ああっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡
ちんこ…、え、あ、あ、あ♡ お、おちん、っぽ♡
おちんぽお、きもち…♡ きもちーいい♡」

1 【場面】 汀に実況を強いるヒロイン。汀、恥じらって抵抗するが

2
3 汀 「じ、実況…！？ やだ、そんな、あっ♡
4 はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ…♡」

5
6 【ヒロイン】 「してほしいな…♡」

7
8 汀 「はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ…♡
9 う、ううっ…♡ ね、ちゃんのっ…♡

10 姉ちゃんが俺の上でぱんぱん腰振ってっ♡
11 ちんぽ絞られてる♡ ちんぽまんこに絞られてるっ♡
12 ああっ♡ ああっ♡ ああっ♡ はあっ…！♡」

13
14 【ヒロイン】 「メイド服着て興奮しちゃってるんだよね？♡」

15
16 汀 「つんぐ、はあっ♡ はあっ♡ ああっ♡

17 こ、こうぶん、してるっ…♡
18 エロいメイド服着てっ、ちんぽシコシコされるのすき♡
19 すき♡ すき♡ ちんぽすき♡ すき♡ すき…！♡」

20
21 【場面】 二人のセックスを見守っていた優正、汀にキスをし始める

22
23 優正 「ふふ、たのしそ…♡

24 汀、あーん…♡ （キス）はむ、ちゅる、んん♡」

25
26 汀 「（キス）んっ？ んんっ！？♡

27 んぶっ、はあっ♡ あっ♡ ゆ、せ、さんっ…！」

28
29 優正 「優正じゃなくいゝ。『お兄ちゃん、って呼んで』…♡

30 はむ、んちゅ、んんっ…♡」

31
32 【場面】 キスを媒介にしてどんどん淫魔の洗脳の力を注いでいく

33
34 汀 「んちゅっ…！ んむ♡ んま、待つ、あうっ、
35 んっ♡ あ♡ はあっ♡ お、にいちゃ…っ♡」

1 優正「はむ♡んちゅ♡ん♡
2 『いーっぱい呼んで…?』♡」
3

4 汀「おにい、ちやつ…♡お兄ちゃん♡お兄ちゃん♡
5 おにいちゃっ…♡んんっ♡」
6

7
8 【ヒロイン】場のテンションに煽られて絶頂、潮吹き

9 汀「んむ、ふぁ、あぁっ!?!♡
10 はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡
11 ねーちゃ、潮吹いたっ…!?!♡」
12

13 優正「え〜〜? 俺と汀がキスしてるとこ見てイッたあ?♡
14 あは♡えっち♡
15 じゃあ汀。キス♡もつとしよ…♡」
16

17
18 【場面】汀の唇を塞ぐ優正。ヒロインも腰を振り続ける

19 汀「(キス)んむっ!♡ んむっ、んんっ♡んんっ♡
20 んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡…」
21

22 汀「(顔逸らし)つぶは、けほっ、だめこれ、だめ、
23 だめだっば頭おかしくなるっ…!?!♡
24 はむっ、んんっ、んんっ、っあぁっ!?!♡」
25

26 優正「だめじゃない♡おかしくなる…♡
27 ほらちんぽイク♡まんこでじゅこじゅこ♡
28 ちんぽイク♡ちんぽイクよ♡」
29

30 【ヒロイン】『なぎさっ…♡一緒にイこうね♡♡♡』
31

32 汀「あっあっあっあっ♡あっ!?!
33 イクイクイク♡ちんぽイクっ♡
34 んああ♡イク、イク、イクイク、イクイクイクっ♡
35 あぁっ…(絶頂)んぐっ♡ああああ〜っ…!?!♡
36 んっ♡うっ♡うぁっ…!?!♡あぁっ♡あぁっ♡はぁっ…♡」

1 【場面】 煽られ、ヒロインの膣内で大量に射精する汀

2
3 汀 「はっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡」

4
5 優正 「『汀、もっと腰振って』」

6
7 汀 「はっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡」

8 つあ、何っ！？ 待って、止まって、止まってっ…！♡」

9
10 【場面】 イッたばかりなのにも関わらずピストンが続く。

11 汀、快感の強さに泣きそうになりながらヒロインの腰を掴む

12
13 汀 「な、なんで止まんないの！？」

14 もうイッた、イッてる、イッてるからっ…！♡

15 腰とまんない！♡ 止まんない、ぱんぱん止まんない♡ ああっ…！♡」

16
17 優正 「あっはは♡汀の体バカになっちゃったね♡

18 ちんぽはまだビューしたい♡ 射精したいって♡」

19
20 汀 「ああっやつ♡やつあっあっあっあっあっあっ♡

21 ちがうっ 射精じゃなくてっ♡

22 射精じゃなくてなんかでるっ♡ なんかでるっ…！♡」

23
24 【ヒロイン】 『汀、もっと出そっ…♡♡♡』

25
26 優正 「（汀へ耳舐め）はあむ♡んじゅ♡じゅる、んん♡

27 んん？♡ んんふふ♡ 『だーせ♡だせだせ♡』

28 きもちいよ汀♡ いっぱい出そうっ…？♡」

29
30 汀 「んっ…！ んんんんっ…！…！♡♡♡

31 （潮吹き絶頂）かはっ……っ、アッ……！…！

32 （快感続きびしゃびしゃ漏らし）

33 あああああっ♡ だめだめだめだめっ、

34 待って待って待って待ってッ…！♡♡♡」

優正「ンンっ♡はあっ♡あむ、はあっ…!♡
あはは、汀も潮吹いたあゝっ…?♡
お姉ちゃんのまんこ、びしょびしょ…♡」

汀「っ、うあっ…!♡ あっ…♡かはっ…♡はっ…♡
はっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡
はっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡」

【場面】ベッドがぐしゃぐしゃに濡れる。汀、気恥ずかしさで
半泣きになり顔を隠す

汀「はぐっ…っ♡うあっ…♡はっ…あっ…♡あっっ…♡
(落ち着かせ)ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡…
(悔しい)はー…はー…はー…はー…」

汀「うう…こ、んなっ…お漏らし、みたいなの…!」

【ヒロイン】「汀…♡♡かわいい…♡♡♡」

汀「(鼻すすり)スンッ…は…♡は…♡は…♡は…♡
(キスされ)あむっ…ん…
っかわいい、じゃなくてっ…♡はっ…♡はっ…♡はっ…♡」

汀「やだ、こんなのっ…♡男、なのに、こんなのっ…!
もおやだ、頭、おかしくなるっ…
は…♡は…♡は…♡は…♡」

優正「ふふ…ちよつとそろそろ限界かなあ?♡
あんまり恥ずかしいと頭パンクしちゃうよねえ…」

▼トラック4

【場面】ヒロインの頬を撫でる優正

優正「ね。汀に言ってみな。

『今日のコスプレセックスの事は全部忘れる』って」

汀「はっ……はっ……え……?」

優正「『後で全部忘れるんだから、いっぱい下品なセックスしよ♡』って」

優正「ほら。まっすぐ、目を見て」

【ヒロイン】優正に従う。

『汀、今日のコスプレセックスの事は全部忘れるからね』

汀「えっ……。今日の……事、ぜんぶ、忘れる……?」
なに…どういう…、こと……」

【ヒロイン】『後で全部忘れちゃうんだから、
いっぱい下品なセックスしよ…♡』

汀「あと…で……、忘れちゃうんだから…
いっぱい、げひんなせつくす……?♡」

【場面】ぐるぐる目になる汀。完全に洗脳されている。
ヒロインに「わかった?」と問われる

汀「っ……? あっ……? っ……?」

汀「(生唾飲み)わ、か……わかつ、た……♡
コスプレセックスのこと、ぜんぶ、わすれる……
いっぱいげひんなセックス、する♡ したいっ♡ したいっ……♡」

優正「あは。上手♡」

1 【場面】ヒロインの頭をよしと撫でる優正

2 優正「じゃあ汀、今日は空っぽになるまでエッチしようか♡
3 ちよつと足広げて♡」

4 汀「んんっ…え…？♡ なに、そのペン…♡」

5 優正「あのエッチなマンガ、こんな感じだったよね？」

6 ふとももにイッた回数、正の字で書いて、って…。

7 汀いま何回イッたっけ？ 1…2…3？ ふふ♡」

8 【場面】汀の太ももに油性ペンで正の字を書きながら、

9 優正も優正で汀に強い洗脳をかける

10 優正「『今日は最高記録目指そっか♡
11 そのうち精液も出なくなるけど、
12 イッたらイッたってちゃんと申告するんだぞ？…♡』」

13 汀「うあつ…♡あつ…♡」

14 が、がんばりま、す…♡」

15 【ヒロイン】「汀…♡かわいい♡だいすき…♡」

16 汀「んあつ、（キス）はむ、んんっ…♡

17 ねえ、ちや…？♡

18 おれも…おれもすき…♡ ねえちゃんがすき…♡だいすきっ…♡」

19 【ヒロイン】「セックスしよ♡ いっぱいはんぱんして…♡」

20 汀「はむ、んちゅ、んん、んんっ…♡

21 セックスする♡ いっぱいはんぱんするっ…♡」

22 【ヒロイン】「どうしたい？」

23 汀「か、顔見をする♡ 正常位でいっぱいはんぱんする♡
24 足ぎゅーって絡めて、ねえちや…♡」

1 【場面】 正常位で再度挿入。ぎゅうぎゅうだいしゅきホールド

2
3 汀「（挿入）んっ…♡あっ…！」

4 はあ…はあ…はあ…っ♡

5 ああ…っ…まんこ熱…溶ける…♡

6 きもちっ♡とまんない、これっ…！…♡

7 はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ…！…♡」

8
9 【場面】 優正、傍に腰かけて

10 おもむろに二人にスマホをかざす。ビデオ録画の音が鳴る。

11
12 汀「はあっ♡あっ♡あっ♡あっ…！…♡

13 ねえちや、すき、すきっ…！…♡

14 （耳舐め移行）あむっ、ちゆる、じゅうっ、じゆる、

15 れろ、んちゅ、んんっ♡んんっ♡んんっ♡んんっ♡

16 んんっ♡んん♡はあ、うっああっ…！…♡」

17
18 優正「……♡ふふ、かーわいー……♡」

19
20 優正「ねー汀。お姉ちゃんのどんところが好き…？」

21
22 【場面】 汀、一心不乱に腰を振りながらヒロインの姿を見つめる

23
24 汀「はあっ♡あっ♡んっ♡えっ…？…♡

25 ね、ねえちゃんの…すきなところ…っ♡」

26
27 汀「っはあ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…

28 か、わいい…っ、顔がっ…♡」

29
30 優正「えー、そうなんだ。それが一番最初に出てくるんだあ♡」

31
32 汀「あとっ…あと、やさしいところ…！…♡

33 いっぱい、あまやかして、くれるところ…♡

34 っはあ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…」

35
36 優正「へー……。汀も甘えてる自覚あるの？」

1 汀 「はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡
2 ある……っ、ある、けど、
3 あんま、甘えないように、してるっ……っ♡」
4

5 優正 「ふふ。なあんで？」
6

7 汀 「んぐっ♡ふう♡ふーっ♡ふーっ♡…
8 すきにっ…、すきになっちゃう、から…っ♡
9 甘えたらすきになっちゃうから、がまんっ…♡
10 がまん、してるっ……っ♡」
11

12 【ヒロイン】「な、汀っ……♡我慢、してるんだ…？」
13

14 汀 「はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…
15 がまん、してるっ…♡だって姉ちゃんのこと
16 すきになったら…、すきに、なったらっ…
17 おれ、弟だからっ…♡すきになったらダメ、なのっ…！…♡」
18

19 優正 「でも好きなんだよねー？」
20

21 汀 「んんっ♡（頷く）すきっ…♡すき♡すきっ…♡
22 ねえちゃんすきっ…♡」
23

24 【ヒロイン】「なぎきっ…！…♡」ぎゅうぎゅうとだいしゅきホールド
25

26 汀 「んあっ♡ねえ、ちゃっ…♡姉ちゃんっ…！…♡
27 （キス）はむ♡んん♡んん♡はむ、んちゅっ…♡」
28

29 優正 「ええー、ふふ。後は…？」
30

31 汀 「んんっ、ふは、あとっ…あと…？
32 いっぱい、あるっ…♡ぜんぶっ♡ぜんぶすきっ…！…♡」
33

34 優正 「体だったらどこが好き…？」
35
36

1 「ふっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡…
2 からだっ…？♡おっぱい、柔らかい、とっっ♡
3 乳首のかたち、綺麗でえろいとっっ♡
4 はあっ♡ああっ♡あっあっ♡」

5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

【場面】意識がヒロインの体に向き、ピストンが激しくなっていく

汀 「あとっ♡まんこ♡まんこっ、いつもおエロくて、っん、
おれのっぎゅってしてくれてえ…♡
すきすきってしてくれてるみたいで、かわいいっ…♡
こりこり、ぐちゅぐちゅしててすきっ…！♡」

汀 「あとっ、声もすき♡
っういうのっ♡こういうあんあん言う声、すきっ…！♡」

優正 「へー…：ぜんぶ好きなんだね、お姉ちゃんのこと」

汀 「んんっ…♡んっ♡（キス）はむ、んんっ♡
んっ…♡す、き…っ♡すき…っ！ ぜんぶすき♡」

【ヒロイン】「汀まって、イきそうっ…♡♡♡」

汀 「んん？♡んえ、ねえちゃんイきそおっ…？♡
だめ俺もっ…♡はあっ♡ああっ♡おれも、おれも一緒にイクっ…♡
一緒にイクっ…♡」

汀 「はあっ♡あっあっあっあっ♡
ああっ！♡あっあっあっあっ…！♡」

汀 「んん♡んん♡んんっ、んんっ♡
ああイっく♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡
一緒に♡ねえちやつ♡いっしょ、いっしょにイク、
イク、イク、イクイクイクっ…！♡
はあっはあっはあっはあっ♡

（絶頂）ああイっく…！…！♡
あっっ…！…♡はあっ…！…！…！…！♡」

1 【場面】ヒロイン&汀同時に絶頂。ずるりと陰茎が抜ける

3 汀 「はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡

4 はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡

5 はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡

7 優正 「っ…♡……♡」

9 【場面】撮影していたスマホを放り、

10 ペンで汀の太もも正の字を付け足す優正

12 優正 「ふふ、今ので4回め…？♡

13 さすがに疲れてきたかな？♡」

15 汀 「んっぐ……♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡」

17 優正 「じゃあ『お姉ちゃんは、次は俺とシよっか』……♡

18 (ヒロインへ甘めキス) んちゅ…♡はむ、んちゅ、ちゅっ…♡」

20 汀 「はっ……え……っ？♡」

22 優正 「ふふっ…ふふ、あっはは♡あははっ…！

23 はーあ、ふふ、なんか嫉妬しちゃった(笑)

24 ここ立って。俺ともシよ？ ね？♡」

26 【場面】ヒロインの腕を強く掴んで立たせる優正。

27 背後からヒロインの足の間に性器を割り込ませ(素股)

28 ゆるゆると腰を振る

30 汀 「っ…、う……っ♡」

32 優正 「見てこれ♡後ろからお前のまんこに

33 俺のちんぽぐちゅぐちゅ♡って挟んでもらったらさあ、

34 中からどろー…って汀の精液が溢れてくるの、わかる？♡」

36 【ヒロイン】「あっ…♡わ、かるっ…♡」

優正「ふふ、ね♡弟ザーメンおいしかったもんね♡
2 こんなの見せつけられたら嫉妬するよ…♡」
3

優正「だから俺のちんぽもちゃんと食べて?♡　ね?♡」
4

汀「あっ…:…ねえ、ちゃん…♡」
5
6
7

優正「ほおら、イクよ?♡　奥までドンツて突いた瞬間にイクからね?♡
8 イク♡イクイク♡奥まで突かれてイツ、くっ…!…!♡（挿入）」
9
10

【場面】挿入の衝撃でヒロイン悲鳴、びちゃびちゃと潮が漏れる
11
12

優正「ああっ♡♡はあっ♡♡♡
13 あっはは♡あは、ふふっ♡
14 ちゃんとイツたあ♡えらいえらいっ♡」
15
16

汀「っ…!…♡　す、っ…!…♡
17 ねえちゃ、びしゃって…♡」
18
19

優正「なぎさ、みて♡お姉ちゃんのイキっぱなしまん♡
20 お兄ちゃんちんぽでズコバコされてる♡
21 （ピストン）はあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡…」
22
23

汀「うっ…:♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡
24 ねえちゃ…っ♡あ♡はあっ♡はあっ♡…」
25
26

優正「ふふ、ほくら、汀っ…♡
27 後ろからはお兄ちゃんが好きにしてるから、
28 正面のほうは汀が好きにしていいよっ…♡」
29
30

【場面】ヒロインの両腕を掴んで見せつけ立ちバック。
31 汀、吸い寄せられるように体を起こし、ピストンで
32 揺れている胸元に顔を埋める
33
34

汀「はっ…:♡あっ♡ねえちゃん、えっち…♡
35 おっぱい♡ねえちゃんのおっぱい、吸いたいっ…♡」
36

優正「ふふ、いーよ…っ♡

ちゅぱちゅぱって、いっぱい吸いな…っ♡」

汀「はむ♡あむっ♡ちゅう、れろ、じゅる、ちゅうっ…♡

んんっ♡んんっ♡んんっ♡んんっ♡

おいしっ…♡ねえちゃんのおっぱい、

ねえちゃんのおっぱい、すきっ…!!♡

あむ♡ちゅる、れろ、ちゅぽっ…!!♡」

【ヒロイン】優正に突かれながら汀に乳首を吸われ悶絶、
「だめこれすごい♡イってるずっとイッてる♡」

優正「はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

んん？♡ねーこれすごいね♡ずっとイッてる♡

いきまんこずーっとパンパンきれながらイッてる♡

あははっ♡おっぱいでもイッてるねえこれ？♡」

汀「はむっ♡じゅるっちゅう♡

ねえちゃん♡ねえちゃんすきっ♡

俺もまた射精したいっ♡

またビュッてしたいっ…♡」

【場面】顔を上げる汀、ヒロインの耳舐め

汀「（耳舐め）はむっ♡じゅるっ♡ちゅう、じゅうっ♡

あむ、ふうっ、じゅる、んん♡

ねえちゃん、すき、すき、すき…♡

ねえちゃん、ねえちゃん、ねえちゃん…!!♡」

優正「んふふ♡んあっ♡ふふ、俺もイク♡

お姉ちゃん♡俺もイきたい♡

仲間入れてよ♡ねえ、ねえ、ねえっ…♡」

【ヒロイン】二人にぎゅうぎゅう挟まれながら絶頂が続く

優正「はあっ♡はあっ♡はあっ♡はあっ♡

あっあっあっあっ♡

あーイーくっ♡精子でるっ♡

中出すね♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡

(絶頂)んああっ…!♡♡♡

(絶頂)ああっ…!♡はっ、ああっ♡あっ……!♡」

汀「んちゅっ…♡んむっ♡ぶはっ…♡

はーっ♡はーっ♡はーっ♡はーっ♡…」

優正「はーっ♡はーっ♡はーっ♡はーっ♡…

あっん♡あっ…♡あっ…♡あっ…♡」

【場面】潮吹き of 勢いで優正の陰茎が抜け、

意識も飛びそうなヒロインを優正が片足を抱えて立たせる。

優正「汀、あげるっ…♡」

汀「んっ…♡姉ちゃん、おれもっ♡

おれも中で、んっ、ねえちゃんにちゅっちゅ、

ぎゅーっしてもらっ♡

びゅーって子宮に、ん、出すっ…♡っ…!♡」

汀「中がいいっ♡ちんこ入れ、るっ♡

(挿入)んああっ♡ああっ!♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡」

汀「はあっ♡もおきもちっ…♡

ぐちやぐちや♡ぐちやぐちやまんこすきっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡…」

汀「んああっ♡ちんこ♡ちんこ馬鹿になってりゅっ…♡

ずっと精子あがってくるっ…!♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡…イクっ♡イクっ♡

1 ずっとイッてる♡またイク、イクつ、イクつイクつ…!♡」

3 汀「ああイツ、くっ…!♡

4 (絶頂) んんんっ…!♡ んんっ…!♡

5 んぐっ…!♡ かはっ…!♡ はっ…、あっ…、ああっ…!♡」

7 汀「はーっ…!♡はーっ…!♡はーっ…!♡はーっ…!♡はーっ…!♡

8 はーっ…はーっ…はーっ…はーっ…♡

9 はーっ…はーっ…はーっ…はーっ…♡……

10 っげほ、はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡はあっ…♡」

12 優正「はあ……♡ ふふ、可愛いー……♡」

14 【場面】汀とヒロイン、ずるりとその場にへたり込む

16 汀「んあっ…!♡ ねえちゃん、だいじよ、ぶ…?♡

17 はあっ…はあっ…はあっ…はあっ…♡」

19 【場面】頷くヒロイン。どちらからともなくキス

21 汀「はー…はー…はー…はー…♡

22 (キス) あむ……んちゅ…♡

23 ちゅう…♡ちゅ…♡すぎ、すぎ…、

24 ね、えちゃ、ん、ちゅ♡ちゅぱ…♡

25 んん…♡ふ…♡」

27 優正「…♡ねーえ、俺も混ぜて…♡

28 (ヒロインにキス) ん♡ちゅう♡ちゅむ♡ちゅっ…♡」

30 【場面】汀の頭をよしよしと撫でる優正

32 優正「汀、上手♡ちゃんについてこれて偉い偉い…♡」

34 汀「ん…♡ (頷き) んんっ…♡ふっ…♡はっ…♡はっ…♡」

36 【場面】汀、ぐるぐる目で完全にバグッている

優正「あは、かわいい…♡」

お兄ちゃんもお、汀のことだ〜いすきだからな…?♡」

汀「はあ…♡はあ…♡はあ…♡はあ…♡はあ…♡」

おれも…♡お兄ちゃん、も、

姉ちゃんも、すき…♡だいすき…♡

はあ…♡はあ…♡はあ…♡はあ…♡

はあ…♡はあ…♡はあ…♡はあ…♡」

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

▼トラック5

【場面】数刻後。失神するように寝入っている汀。

汀 「すー…

ん……う……、……あ……？」

汀 「あれ、おれ何で寝て……今なん、じ

おあっ！？ 何この恰好メイド！？

はっ姉ちゃん？！ 何で裸でそこ居てっ……！？」

汀 「はっ、えっ！？ 何！？ 何これっ……！？

っ……！？ ああ………！？」

【ヒロイン】汀の隣で目を覚ます。「汀、おはよう…」

汀 「おっ…、はようじゃなくて……！ もう夕方だろこれ！？

なんで俺メイド服のまま寝ててっ……！」

汀 「姉ちゃん裸だしもしかしてセッ…、セックスしてた！？

は！？ セ、…え！？」

俺は！？ 何も！？ 覚えてないのに！？

セックスが！？ あった！？」

【ヒロイン】「本当に覚えてないんだ」

汀 「『本当に覚えてないんだ』って、は、なに…？

何その、なんか意味深な言い方…っ。

普通、『本当に覚えてないんだ』とか、

この意味不明な状況で言う事、…ある、あるな！？

姉ちゃんがなにかしたんでしょ！ 絶対にそう。

もし…かして、俺に、なんかした…？ はっ……！」

【場面】おそろおそろ布団をめくる汀。

女性ものの下着に落書きされた下半身を見て愕然、慌てて体を起こすが快感の名残と凄まじいダルさに襲われる

1 「落書き！ 落書きがある！ えっ、え、つちなやつだー！
2 ベッドもぐちゃぐちゃだし、それに、…それにっ！
3 あ、あしが震えてんだけど！ ガクガク言って、ア、ン、…る！」

4
5 【ヒロイン】「また喘いでる」

6
7 汀 「喘いでない！ そんなのはどうでもいいの！
8 俺の話聞いてる！？」

9
10 【場面】一人で先にシャワーを終えた優正が部屋を覗きに来る。

11
12 優正 「あ。二人とも起きた〜？」

13
14 汀 「優正さっ、これってどういうことっ…！」

15
16 優正 「え〜？（笑）ふふ。汀、なんも覚えてないの？」

17
18 汀 「っ…。あ、き…。朝、このメイド服着せられて、
19 網戸の掃除、した…。それ…。それから…
20 それから…。？」

21
22 優正 「あは。ちゃんと効いてて上出来だね、お姉ちゃん♡
23 お風呂沸かしといたから二人とも入ってきな。
24 俺、先に夕飯の準備しておくね♡」

25
26 【場面】シレッと踵を返す優正

27
28 汀 「何で二人とも訳知り顔なの！？
29 ねえ、何、何で、な、…ちよっと！
30 話聞いてっば！ も……！！」

31
32 【場面】浴槽に浸かった二人。
33 今日何をされたのか、事の顛末を教えられて愕然とする汀。

34
35 汀 「バツ…。カ。ばか、ばか、ばか…！
36 最低。最ッ低！ ドン引きだわ！

1 記憶飛ばす洗脳って何…!？」

2

3 【場面】ヒロインにばしやりと湯をかける汀。

4 拗ねて湯舟の端に寄る。「ごめんね…」謝るヒロイン

5

6 汀 「謝るならやらなきゃいいだろ…!

7 怖すぎる。何だよ淫魔の力って…!」

8

9 【ヒロイン】「もうしないから…」

10

11 汀 「も、もうしないとか当たり前…。

12 マジで…。もう二度としないで

13 (ぼそつと)普通に寂しいじゃん、俺だけ知んないとかき…」

14

15 【ヒロイン】「…。汀、本当に何も覚えてない…?」

16

17 汀 「……。

18 ああ…? だから覚えてないって。なんも…」

19

20 【ヒロイン】「そっか…」少し残念そう

21

22 汀 「な、んで残念そうな顔するわけ

23 全然普通に嫌な予感すんだけど…

24 …あ!？ 俺もしかして何か変なこと口走ったんじゃね!？

25 ねえ、何言ったの。何を言ったの俺は!？」

26

27 【ヒロイン】「変なことは言っていない。

28 …いっぱい好きって言ってくれた」

29

30 汀 「は、は、はあああ!？」

31 いっぱい好きって言ったあ!？ 俺があ!？

32 それはもう変なことだろ！ 変！ すげー変！

33 姉ちゃんこそ忘れろ!？」

34

35 【ヒロイン】「嬉しかったのに…」

汀 「（赤面）知らない。
好きなんか知らない。分かんない」

汀 「知らないって！
どうせえ！？ エロい誘導尋問して言わせたんじゃないの？
姉ちゃんならやりかねない…てかやる。そうでしょ」

【ヒロイン】「そ、それはそうなんだけど…」

汀 「ほら。でしょ？」

（溜息）はあ…。姉ちゃんも優正さんも
油断するとすぐこれ。

爛れすぎ。19歳が送っていい性生活じゃないから、こんなの」

【ヒロイン】「19歳…」明らかに萌えている声色で復唱してしまう

汀 「…ちよつと。『19歳…♡』って変な声で言うのやめてよ、
しかも萌えてるみたいない感じのやつ…！
姉から聞いたくなかったんだけど、そういうの。
しかも俺宛に」

【場面】自分の膝を抱く汀

汀 「…………。はあ…。なんも覚えてないのに
死ぬほど射精したみたいな感覚はある…」

汀 「……はっ！ も、もしかして、もしかしてなんだけど
あんまり考えたくないけど！
普通のセックス以上のこと、してない、…よな？」

【ヒロイン】「普通のセックス以上のことって？」

汀 「あのっ…、ア……アナル、セッ……クスみたいな、
俺がなんかそういうのやられたみたいなの？
なんか下半身ぐちよぐちよだったし！？
女装とかさせられてたし！？」

1 【ヒロイン】「だ、大丈夫だよ！
2 メイド姿はかわいかったけど流石にそこまでは……！」
3

4 汀 「さ、…すぐに、そこまでは……。
5 はあっ……よかった……」
6

7 【場面】安心してバチャッと顔を湯で洗う汀。
8 少々の沈黙のあと、ぽつりと呟く
9

10 汀 「……。
11 姉、ちゃんってさ……。何で急にそんな、
12 淫魔の力を磨くって、特訓みたいなことし始めたの……？」
13

14 【ヒロイン】「えっ……。なんか、お兄ちゃんに
15 強くなると便利だよって言われて……」
16

17 汀 「便利……。まあ、たしかに、便利、ではあるのか……？」
18
19 汀 「……。

20 まあ。確かに姉ちゃんが色んな男と
21 セックスしてるの、結構心配だったっていうか、
22 それって本当に安全なのかなとは、ずっと思ってたから……。
23 淫魔の力？ みたいなのが強くなって、
24 男のこと完全に操れるようになるって言うんだったら、まあ……まあ」
25

26 【ヒロイン】「本当にいい？」
27

28 汀 「え、良くはないと思ってるけど？
29 良くはないけど、…淫魔って、その…
30 そうという生き方をするもの、なんでしょ？
31 じゃあ、それを否定するのは違うくない？
32 …俺ら人間だって生き物を殺して
33 食べて生きながらえてるわけだし…。
34 だから、姉ちゃんとか、優正さんとか雷斗さんの生き方に対して
35 俺の価値観であれこれ口挟むのは失礼だ、…って、思う」
36

1 【ヒロイン】「汀…」
2

3 汀

「ン……。だから、姉ちゃんが納得して
その生き方をしてるなら、…それでいいよ。

ただ、変に特訓なんて息巻いて

危ないことに巻き込まれるとかは絶対やめてほしい！ それだけ！」
6
7

8 汀

「いつも言ってるけど、俺は、その、弟、で、
…かぞく、だし。しんぱいする…」
9
10

11 【ヒロイン】「な、なぎさくくっ♡」後ろから思い切り抱き寄せる
12

13 汀

「うおっ…！ ちょ、もう何！ 抱きつくな、暑かしい…！」
14

15 【ヒロイン】「お姉ちゃんも汀のこと大好きだよ♡」
16

17 汀

「な、何、だいすきって、
好き好き言うのウザいってば、も……！」
18
19

20 【ヒロイン】「汀、頭洗ってあげようか♡お風呂あがったら
21 体拭くのも髪乾かすのもお姉ちゃんやっただげるね♡」
22

23 汀

「げっ！ 子供扱いやめて、
24 頭洗うとか、体拭くとか髪乾かすとか！
25 俺は五歳児じゃあーりーまーせーんー
26 やってもらわなくて結構です♡」
27

28 【ヒロイン】「汀のこと、いっぱい甘やかしたくて…♡」
29

30 汀

「は？ 甘やかしたいって、これ以上！？
31 いい、いい。過剰過剰。
32 甘やかしの過剰摂取でだめになったらどうする！？」
33

34 【場面】ヒロインの腕を解こうとじたばた。
35 振り返った矢先にキスもされてしまう
36

汀 「んむっ!?(キス) んっ、ちゅ、ちゅう、ん、う…!♡

っう♡ ちゅ、じゅるるるっ、ちゅ、

…シン、ん、つぶは、ちよっ…!

っはぁ、はぁっ…、はぁ…っ?

『甘えていいんだよ♡』、じゃない

可愛く言ってもだめだから」

汀 「いいって! 離してってば!

うっ、あ♡ちよ、変なところ触るなって…!

甘やかしたいのか、エロいことしたいのか、どっちなの…

いやどっちもだめだから! のーさんきゅー

いい? 俺、次、二十歳。

子どもじゃないわけ。大人になんの! 姉ちゃんと一緒なの!

ちよ、っ! 笑ってんな!」